

東成区

ごみゼロ



リ-ダー

ニュース

第15号

平成30年2月発行

地域でごみ減量・3Rの取組をより推進

「ごみ減量市民交流会 in 大阪」開催される



天神祭の事例に聞き入る参加者の皆さん（会場風景）

平成30年2月6日(火)午後1時30分から、大阪産業大学梅田サテライトキャンパス（大阪市北区大阪駅前第3ビル）において、大阪ごみ減量推進会議主催の「ごみ減量市民交流会 in 大阪」が開催され、東成区神路連合推進員の小山連合代表が参加しました。セミナーの主催者を代表して、大阪ごみ減量推進会議の花田眞理子さんは、

「この交流会で活発な討論や意見交換会ができるよう期待します」とあいさつされました。

交流会第1部の〔事例1〕では、兵庫県加東市から「加東市保健衛生推進委員の活動」についての発表があり、ごみ処理基本計画を実施するに際し、加東市では廃棄物処理法に規定されている「廃棄物減量等推進員」制度がない代わりに「保健衛生推進員委員」を発足し、ごみの減量に取り組んでいることが報告されました。

続いて〔事例2〕では、天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会から「初年度の実践～『南天満公園』エリアのエコステーション等実施」の報告があり、2016年の天神祭では60トン以上のごみが廃棄されていたが、2017年は2日間で延べ835人のボランティア来場者に14ヶ所のエコステーションでごみの分別を呼びかけ、お祭りに訪れた方々からお預かりしたモノの内、64%のごみを減量・再使用・再資源化することが出来たことや、100万人以上が訪れる祭では日本で初めてリユース食器の利用に取り組みましたと報告がありました。

その後の第2部交流会では、6分科会が開催され、各分科会報告・まとめが行なわれ、市民交流会を終了しました。



主催者あいさつする花田代表

ガレージセールの次年度開催に向け課題を抽出

平成 29 年度第 3 回東成区廃棄物減量等推進員連合代表者会議を開催



会議開催に際しあいさつする藤湊会長（最前列左）

アンケートでは、主に出店ブースのブロック割りが長すぎるので横断するのに迂回する距離が長いこと。会場での効果音楽やアナウンスの音量が大きいこと。スピーカーの配置の見直し等についての意見がありました。推進員からは、出店者の車両が公園へ乗り入れる際、荷降場と出店ブースが近すぎるので搬入通路を広げてはどうか。また車両出入口付近の駐輪場対策などについて意見が出されました。

会議では、ガレージセールの運営に携わった各推進員の皆様の意見やアンケート結果等を踏まえて、平成 30 年度の東成ガレージセール開催に向けた課題等は、次年度の会議で検討することとし、第 3 回東成区廃棄物減量等推進員連合代表者会議を終了しました。

平成 30 年 1 月 19 日(金)、東成区民センター集会室 602 号室において、「平成 29 年度第 3 回東成区廃棄物減量等推進員連合代表者会議」を開催しました。

会議では、第 14 回東成区ガレージセール開催時に実施したアンケートの集計結果報告やガレージセール運営に従事された推進員の意見などを参考に、ガレージセールの次年度開催に向けて意見交換を行いました。



30メートルに及ぶ出店ブース



ガレージセールに従事頂いた各推進員の皆さん（順不同）



第 14 回ガレージセールの開催風景（東中本公園）

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

